

市町村名	南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南城市観光振興計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(3)-イ 圏域の特色を生かした産業の振興	
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28	～平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	<p>沖縄県を訪れる観光客のニーズや観光産業を取り巻く状況は大きく変化してきており、特に持続可能性を盛り込むことはこれからの観光まちづくりにおいて必要不可欠な条件となる。 これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	7,193	7,971			15,164	
	B. 執行済額	7,187	7,895			15,082	
	うち 交付金充当額	5,749	6,315			12,064	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.5%	
執行状況の説明	最終的な執行率は99.5%となり、概ね計画通りに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	アンケート、事業所ヒアリング、入込客数の調査・分析課題整理	目標	アンケート、事業所ヒアリング、入込客数の調査・分析課題整理	-	-	-	-
		実績	構想書の作成、アンケート、事業所ヒアリング、入込客数の調査・分析、課題整理	-	-	-	-
	基本調査、分析等を踏まえた計画書の策定	目標	-	計画書の策定	-	-	-
	実績	-	計画書の策定	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	本市の現状・課題を整理し平成29年度策定の計画策定の資料とする。	目標	現状・課題の整理	-	-	-	-
		実績	現状・課題の整理	-	-	-	-
	南城市観光振興計画策定の完了 ※概要版50部、報告書50部	目標	-	概要版50部 報告書50部	-	-	-
	実績	-	報告書100部	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
	観光振興計画に基づき、各種施策を実施する。		目標				各種施策の展開
			実績				各種施策の展開
			目標				
実績							
状況説明	【H30年度】 ・計画施行初年度である平成30年度において、全43の取り組みのうち25の取り組みについて着手した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・計画を共に作った観光振興委員の役割が進捗管理のみとなり、観光関連事業者との関わりが弱いと思われる。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【H30年度】 ・施策を展開するうえで、観光振興委員をこれまで以上に巻き込む必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・持続可能な観光まちづくりを実現するために観光振興委員会にワーキンググループを設け、具体的な取り組みを協働で行っていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南城市海岸線景観魅力アップ推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	企画部	政策調整課	事業実施 年度	平成 28 ~ 平成 29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	東海岸に広がる青い海の眺望を確保し、観光地として魅力的な景観の創出を図るため、沿道から海の眺望を遮断する雑木等の伐開を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	5,306	5,306			10,612	
	B. 執行済額	4,593	3,027			7,620	
	うち 交付金充当額	3,674	2,421			6,095	
	執行率(%) (B/A)	86.6%	57.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	71.8%	
執行状況の説明	平成28年度、平成29年度ともに委託業務を概算契約にて締結し、業務完了後の実績確定に伴い不用額が生じたが、当初予定していた作業日数や人員等よりも少ない行程で全ての事業内容を実施することができた。総事業費の執行率は71.8%となっているが、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	知念区域(L=6.0km)の雑木等抜開実施	目標	抜開実施	-	-	-	-
		実績	抜開実施	-	-	-	-
	玉城地区(L=4.8km)の雑木等抜開実施	目標	-	抜開実施	-	-	-
実績		-	抜開実施	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	知念区域(L=6.0km)の雑木等抜開完了	目標	抜開完了	-	-	-	-
		実績	抜開完了	-	-	-	-
	玉城地区(L=4.8km)の雑木等抜開完了	目標	-	抜開完了	-	-	-
実績		-	抜開完了	-	-	-	

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	本市の海岸線からの眺望について、「観光地として魅力的な景観となっているか」(80%以上)を含め、本事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証する。	目標				80%以上
		実績				96.1%
		目標				
		実績				
状況説明	<p>【H30年度】 ・本市の海岸線からの眺望について、「観光地として魅力的な景観となっているか」を含め、本事業のあり方および効果を検証するため観光客を対象としたアンケート調査を実施した。アンケート調査の結果、回答のあった103名の観光客のうち、「本事業の実施により観光地として魅力的な景観となっている」と回答したのは99名(96.1%)であり、目標を達成できた。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【H30年度】 ・事業実施により海岸線沿いの伐開箇所において、写真を撮影する観光客やレンタカーを一時停車し良好な景観を眺望する観光客が増え、観光地として魅力的な景観を創出することができ、更なる誘客へのPRのひとつとして効果が期待できる。</p> <p>・本県の亜熱帯気候では雑木等の生長が早く、年間を通して景観眺望を維持する必要があることから、景観を保持していくための継続した管理体制が課題である。</p>			<p>【H30年度】 ・眺望景観を重要な観光資源のひとつとして捉え、本市を訪れた観光客へのPRだけでなく、観光客を誘客するひとつのコンテンツとして情報発信していく必要がある。</p> <p>・本市を訪れる観光客が年間を通して魅力的な景観を楽しむことができるよう、景観維持のための管理手法および体制を整える必要がある。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【H30年度】 ・本市をPRするため県内外でのイベント等に参加する際に、創出した眺望景観をひとつの観光資源として活用し、観光誘客に取り組む。</p> <p>・年間を通して良好な眺望景観を維持するため事業実施個所の定期点検を行い、本市の観光基金を活用した伐開作業の外部委託を実施する。</p>						

市町村名	南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光交流サイン整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	企画部 土木建築部 教育部	観光商工課 都市建設課 文化課	事業実施 年度	平成 25	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
III-1-(1)							
事業内容	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めると共に景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	61,784	28,013	46,134	38,243	174,174	
	B. 執行済額	52,101	28,013	42,723	36,627	159,464	
	うち 交付金充当額	41,679	22,410	34,178	29,301	127,568	
	執行率(%) (B/A)	84.3%	100.0%	92.6%	95.8%	91.6%	
執行状況の説明	最終的な執行率は91.6%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	各字調査(63字) 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定	目標	63字 委員会設置 道路愛称決定	-	-	-	-
		実績	63字 委員会設置 道路愛称決定	-	-	-	-
	道路愛称板の設置工事	目標	-	20箇所	10箇所	-	-
		実績	-	11箇所	12箇所	-	-
	集落域文化遺産サイン設置工事	目標	-	8集落	2集落	7集落	7集落
		実績	-	6集落	2集落	8集落	7集落
	観光等誘導案内板の設置	目標	誘導案内板 整備	15箇所	10箇所	-	-
		実績	誘導案内板 整備完了	17箇所	16箇所	-	-
	集落域文化遺産サイン整備調査委託業務完了	目標	-	-	-	15箇所	-
		実績	-	-	-	15箇所	-

	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
事業期間中の 成果目標	各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定	目標	63字 委員会設置 道路愛称決定	-	-	-	-
		実績	63字 委員会設置 道路愛称決定	-	-	-	-
	道路愛称板の設置	目標	-	20箇所	設置	-	-
		実績	-	11箇所	設置	-	-
	観光等誘導案内板の整備完了	目標	20箇所	15箇所	設置	-	-
		実績	22箇所	17箇所	設置	-	-
	来訪者の文化遺産への理解や到達の利 便性の向上	目標	-	-	利便性の 向上	利便性の 向上	-
		実績	-	-	利便性の 向上	利便性の 向上	-
	地域住民の地元にある歴史文化遺産の 再確認、活用	目標	-	-	再確認・ 活用	再確認・ 活用	-
		実績	-	-	再確認・ 活用	再確認・ 活用	-
	市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての 交流促進	目標	-	-	交流促進	交流促進	-
		実績	-	-	交流促進	交流促進	-
	集落域文化遺産サイン設置工事完了	目標	-	8集落	2集落	7集落	工事完了
		実績	-	6集落	2集落	8集落	工事完了

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
事業完了後の 成果目標	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果					
	サイン整備集落での市民・来訪者への集落案内参加者 にアンケートを実施し、わかりやすく、スムーズな案内誘 導が行われたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を アンケートで検証する。	目標				80%以上
		実績				67.9%
	状況説明	【平成30年度】 ・アンケート調査の結果、南城市内の文化財案内板や解説板の内容について、「とてもわかりやすかった」11.9%、「わかりやすかった」 56.0%で合計67.9%であり、目標は達成できなかった。また、「わかりづらかった」とする意見は13.4%であった。				
【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導案内板が整備されたことで、地域自体の説明・案内がしやすくなっただけでなく、地域にある文化財の啓発に期待ができる。 ・アンケートの調査結果(「わかりづらかった」13.4%)、草木の繁茂についての意見が多く、維持管理に課題がある。 <p>【 年度】</p> <p>.</p>	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置した誘導案内板を活用したまちあるきガイドツアーや地域探検など観光ポイントとしての利活用にむけて、関係機関との連携について検討していく。 ・誘導案内板周辺の草刈りなどの維持管理について、地域住民の協力を得る必要がある。 <p>【 年度】</p> <p>.</p>
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)	
<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導案内板を活用した文化財めぐりを引き続き行い、観光客や市民にわかりやすく案内できるよう関係機関と協力していく。 ・誘導案内板周辺の草刈りなどの維持管理について、自治会長等に協力依頼を行う。 <p>【 年度】</p> <p>.</p> <p>【 年度】</p> <p>.</p>	

市町村名	南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【事業完了後】							
事業名	耐候性野菜栽培施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した 農林水産業の基盤整備	
担当部課名	農林水産部	産業振興課	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	農作物の生産向上を図るため、気象条件に左右されにくい耐候性ハウス(パイプハウス)の整備費用に対する補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	49,015	30,000	22,880	—	101,895	
	B. 執行済額	49,012	27,992	22,880	—	99,884	
	うち 交付金充当額	39,209	22,393	18,304	—	79,906	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	93.3%	100.0%	#VALUE!	98.0%	
執行状況の説明	最終的な執行率は98.0%であり、計画通りに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	耐候性ハウスの整備を支援	目標	実施	実施	実施	—	—
		実績	実施	実施	実施	—	—
		目標					
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	耐候性ハウスの整備	目標	10,000㎡ 約30棟	5,000㎡ 約20棟	5,000㎡ 約20棟	—	—
		実績	9,324㎡ 27棟	5,604㎡ 10棟	3,630㎡ 6棟	—	—
		目標					
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
	耐候性ハウスを整備したことによる生産量の増加		目標				27t増
			実績				6.1t増
			目標				
		実績					
状況説明		【H30年度】 ・収穫量は整備する前に比べ6.1tの増加があったが、耐候性ハウスでは対応できない大型台風の襲来の影響もあり、目標には届かなかった。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・耐候性ハウスで対応できない大型の台風が襲来すると判断する(従来のビニールハウスと同様にハウス倒壊防止対策を行う)タイミングに課題がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【H30年度】 ・台風情報には気を配るとともに、日頃から病害虫対策や排水対策を行う必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・台風襲来前後の適正な管理に関して、JAや普及センター等の関係機関との情報交換や技術指導を仰ぎ、年間を通した安定的な生産出荷が行えるよう生産技術の向上に取り組む。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	文化センター機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成	
担当部課名	企画部	まちづくり推進課	事業実施年度	平成25 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	南城市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている南城市文化センターの機能強化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	218,092	83,198	5,928	58,635	365,853	
	B. 執行済額	216,282	83,198	5,904	58,635	364,019	
	うち 交付金充当額	173,025	66,558	4,723	46,907	291,213	
	執行率(%) (B/A)	99.2%	100.0%	99.6%	100.0%	99.5%	
執行状況の説明	最終的な執行率は99.5%となり、当初予定していた事業内容は計画的に実施し、全て完了した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	工事入札契約、工事着手	目標	契約、工事着手	契約、工事着手	-	-	-
		実績	契約、工事着手	工事完了	-	-	-
	使用の促進にむけた床面(85.2㎡)及び座席シート(510席)の張替などの工事	目標	-	-	工事実施	-	-
		実績	-	-	工事実施	-	-
	多彩な演目の対応にむけたグランドピアノの付属設備の購入	目標	-	-	備品納品	-	-
		実績	-	-	備品納品	-	-
	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務の実施	目標	-	-	-	設計実施	-
		実績	-	-	-	設計実施	-
屋外ステージ常設屋根等の設置工事の実施	目標	-	-	-	-	工事の実施	
	実績	-	-	-	-	工事の実施	
成果目標(指標)	進捗状況						
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	文化センター機能強化の整備実施、完了	目標	整備実施	整備実施	-	-	-
	実績	完了	完了	-	-	-	

事業期間中の 成果目標	事業実施によって、より多面的な施設の 使用による活用の促進	目標	-	-	活用の促進	-	-
		実績	-	-	活用の促進	-	-
	グランドピアノ等の購入により、施設使用 者による多彩な公演の促進につなげる	目標	-	-	多彩な公演 の促進	-	-
		実績	-	-	多彩な公演 の促進	-	-
	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務完 了	目標	-	-	-	設計完了	-
		実績	-	-	-	設計完了	-
屋外ステージ常設屋根設置工事の完了	目標	-	-	-	-	工事完了	
	実績	-	-	-	-	工事完了	

事業完了後の取り組み

事業完了後の 成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
事業完了後の 成果目標	屋外ステージを活用した新規イベント等における来場者 へのアンケートで満足度(80%以上)を含め、アンケート 調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標				80%以上
		実績				67.0%
	屋外イベントの来場者数	目標				2,290人以上
		実績				2,500人
状況説明	<p>【H30年度】 ・屋外ステージを活用したイベントとして主催事業でアンケートを行った結果、イベント自体は100%の満足を得たが、館内サービスにおいて「満足」との回答は67%であり、「やや満足」との回答が33%であった。「不満」の回答は確認できなかった。 ・屋外イベントへの来場者数は2,500人であり、目標を達成することができた。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・機能強化により利便性が改善された箇所等を施設見学者や施設利用者に提供していくことにより、施設の利活用方法を検討する利用団体が広がりをみせている。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>		<p>【H30年度】 ・機能強化により利便性が改善された箇所等に魅力を感じているものの、沖縄特有の雨天・風・強い日差し等の外的要因により屋外施設の利用を不安視する意見もある。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【H30年度】 ・実際の利活用方法を示し、利便性向上をアピールしていくため、引き続き主催事業を企画・実施していく。 ・屋外施設ならではの利活用方法を利用者とともに考え、利活用を促していく。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>						